

環境保全活動（エコオフィス計画）の実績

1 対象範囲（施設）

- (1) 市長部局：本庁舎（教育委員会の8課含む）、新都心銘苅庁舎、首里支所、真和志支所、小祿支所、クリーン推進課事務室、那覇市民会館、歴史博物館、焼物博物館、公立保育所9所
- (2) 教育委員会：教育研究所、教育相談課、各学校給食センター、各図書館・公民館、小学校37校、中学校17校
- (3) 上下水道局：上下水道局庁舎、古波蔵雨水ポンプ場
- (4) 消防：中央消防署、西消防署、松尾出張所、安謝出張所、小祿出張所、真和志出張所、首里出張所、国場出張所

2 削減目標及び削減率（H21は基準年度）

項目 部局名	温室効果ガス (t-CO2)	温室効果ガス算定基礎項目							その他の資源等			
		電気 (kwh)	ガソリン(ℓ)	軽油(ℓ)	都市ガス(m ³)	LPGガス(kg)	灯油(ℓ)	A重油(ℓ)	水(m ³)	紙(×)	ごみ(kg)	
市長部局	H25	6,564	6,741,775	50,513	35,815	173,774	7,274	18,432	—	122,655	38,136	324,702
	H24	6,072	6,133,069	61,698	40,103	13,148	9,415	21,910	—	108,422	32,194	201,144
	H21	6,913	6,988,032	68,419	65,350	9,776	14,495	33,814	—	120,565	31,607	527,589
	削減率	-5.0%	-3.5%	-26.2%	-45.2%	1677.6%	-49.8%	-45.5%	—	1.7%	20.7%	-38.5%
	削減目標	-18.2%	-19%	-8%	-8%	-4%	-8%	-8%	—	-5%	-5%	-5%
教育委員会	H25	17,520	17,677,991	13,603	3,002	259,942	10,830	162,346	282,644	488,484	58,352	676,344
	H24	17,177	16,773,545	20,445	5,429	206,897	11,338	172,580	281,600	504,359	57,478	719,230
	H21	17,279	16,435,786	13,278	4,977	103,750	17,541	157,658	404,398	497,441	58,145	692,745
	削減率	1.4%	7.6%	2.4%	-39.7%	150.5%	-38.3%	3.0%	-30.1%	-1.8%	0.4%	-2.4%
	削減目標	-7.9%	-2.7%	8.5%	-1.5%	-5.5%	-0.2%	-1.1%	-33.0%	-9.5%	-5.4%	-3.3%
上下水道局	H25	611	625,028	18,846	117	385	—	—	80	2,121	2,372	5,916
	H24	616	606,797	20,575	179	394	—	—	200	2,690	2,256	5,746
	H21	633	610,505	25,174	—	535	—	—	—	3,343	2,156	5,581
	削減率	-3.5%	2.4%	-25.1%	—	-28.0%	—	—	—	-36.6%	10.0%	6.0%
	削減目標	-5.0%	-5%	-5%	—	-2.5%	—	—	—	-2.5%	-5%	-6%
消防	H25	1,144	975,606	65,485	36,469	8,548	560	0	—	7,795	1,220	22,507
	H24	1,174	984,432	65,458	33,467	9,076	606	0	—	7,714	850	24,243
	H21	1,152	969,571	62,265	30,135	5,699	874	2,765	—	9,843	2,077	20,915
	削減率	-0.7%	0.6%	5.2%	21.0%	50.0%	-35.9%	-100.0%	—	-20.8%	-41.3%	7.6%
	削減目標	-6.1%	-7.2%	—	—	-3.5%	-2.7%	-2.7%	—	-3.5%	-3.7%	-2%
合計(H25)	25,839	26,020,400	148,447	75,403	442,649	18,664	180,778	282,724	621,055	100,080	1,029,469	
合計(H24)	25,039	24,497,843	168,176	79,178	229,515	21,359	194,490	281,800	623,185	92,778	950,363	
合計(H21)	25,977	25,003,894	169,136	100,462	119,760	32,910	194,237	404,398	631,192	93,985	1,246,830	
削減率	-0.5%	4.1%	-12.2%	-24.9%	269.6%	-43.3%	-6.9%	-30.1%	-1.6%	6.5%	-17.4%	

※削減目標の設定はH27としている。削減率は、基準年度のH21との比較となっている。

※本庁舎における電気量及び料金の削減状況

年度	電気量 (kwh)	料金 (円)	延べ床面積 (m ²)
H25	2,306,530	¥56,314,788	29,608
H24	1,964,610	¥44,968,070	19,185
H21	2,502,863	¥61,081,097	19,185
前年度との比較	341,920	¥11,346,718	

新庁舎
 延べ床面積 29,608m²
 新庁舎(h25.1から)、仮庁舎、銘苅庁舎、喜納ビル、やぎ第2ビル(残りはh24.12まで)
 延べ床面積合計 19,185m²
 旧本庁舎、フレハブ庁舎、仮庁舎、銘苅庁舎、喜納ビル、やぎ第2ビル、区画整理課事務所

3 総括

総括	<p>平成25年度の総括として、エネルギー使用実績を前年度と比較すると「電気」「都市ガス」が増加となり、それに伴い「温室効果ガス」の排出についても増加となった。</p> <p>これは、本庁舎の延べ床面積がこれまでの庁舎の約1.5倍となったことと、全体的に新しい施設に設置された空調設備が都市ガスを使用するヒートポンプ式になったことが、両エネルギーの増につながった。</p> <p>エコオフィス計画での基準年（平成21年度）とは単純に比較することはできないが、計画の最終年度である平成27年度までは、平成25年度の実績と平成21年度の基準値との両方と比較し、最終目標に向けて環境保全活動を推進していきたい。</p>
----	--

4 各部署の考察及び所見

部署名	考察及び所見
市長部局	<p>①電気について 電気使用量については、前年度との比較では9.9%増となっているが、基準年である平成21年度と比べると3.5%減である。これは本庁舎の延べ床面積がこれまでの庁舎より約1.5倍の大きさになったことで前年度より増えていると思われる。また、旧庁舎を使用していた平成21年度と比較すると、使用していた機器などのエネルギー効率が悪くなったことで、逆に使用減となった。</p> <p>②ガソリン及び軽油について ガソリンについては、H25.1月からのカーシェアによる使用減ではないかと思われる。また軽油については、クリーン推進課で使用していたバッカー車のハイブリッド車への入替えによるものである。</p> <p>③都市ガス及びLPガスについて 都市ガスが大幅な増加となっている。本庁舎の空調設備が都市ガスを使用するヒートポンプ式になったことが要因と思われる。LPガスは減少している。要因としては、クリーン推進課で使用していたLPガス車使用減と思われる。</p> <p>④その他の資源について 紙の使用については、全体的にOA紙の使用が増える。その要因としては中核市移行に伴う各種印刷物の増に起因するとと思われる。また、ごみ排出量の増加要因は、これまで報告の無かった市立保育所のごみ排出量がH25年度より報告されたためである。</p>
教育委員会	<p>①電気について 小中学校における実績増（全教室へ空調設備設置を進めているため）。</p> <p>②ガソリンについて 平成25年1月より公用車庁内シェアリング実施のため</p> <p>③軽油について 平成25年度から配送業務（首里学校給食センター）を民間委託。※ディーゼル車</p> <p>④都市ガス及びLPガスについて 都市ガスについては、平成25年度小祿中へ全館空調（都市ガス）を整備したため。 LPガスについては、小中学校における実績減（料理実習・ガスコンロ等、使用減）</p> <p>⑤灯油及びA重油について 灯油については、小中学校における実績減。 A重油については、小中学校における実績増。</p> <p>⑥その他の資源について 水使用量については、学校給食センター及び図書館・公民館における実績減。 紙使用量については、小中学校における実績増。 ごみ排出量については、全対象施設における実績減。</p>
上下水道局	<p>①庁舎電気使用量 使用量増加の要因の一つとして、太陽光発電設備の故障により修理までの一定期間電力の供給がなく、電力会社からの供給電力の使用量増加が要因と考える。</p> <p>②ガソリン使用量 公共交通機関の利用及び公用車の乗り合いにより、前年度に比べ減少しました。公用車が1台減ったことも要因の一つと考えます。引き続き、公共交通機関の利用の促進、エコドライブを推進していきます。</p> <p>③軽油使用量 次年度も減少するように努めていきます。</p> <p>④都市ガス 前年度に比べ減少しました。引き続き節約に努めていきます。</p> <p>⑤A重油使用量（古波蔵雨水ポンプ場） 前年度に比べ使用量が減少した理由として、H24年度は台風の影響で停電があり発電機を稼働したため使用量が多くなっていました。</p> <p>⑥水道（上水道）使用量 前年度に比べ減少しました。節水に努めていきます。</p> <p>⑦ごみ排出量 庁舎において、再利用・分別・資源化を図ってきましたが、排出量が増加しています。ごみ発生の抑制、再利用・分別・資源化に努めていきます。</p> <p>⑧紙OA用紙 裏紙の再利用等により削減に努めてきましたが増加しています。引き続き裏紙の再利用・ミスコピー防止等、呼びかけていきたいと思っております。</p> <p>上下水道局の総括 平成25年度はガソリン・軽油・都市ガス・水道の使用量の削減ができました。 増加の項目もあるので、職員一人ひとりが、エコに対する意識を高める必要があると思っております。エコオフィス活動について職員への呼びかけを続けていきたいと思っております。</p>
消防	<p>①電気使用量 職員の節電意識向上と平成25年度にデマンドシステムを消防本部庁舎、西消防署及び小祿出張所に導入したことにより、電気使用量が抑えられている。</p> <p>②ガソリン・軽油使用量（削減対象外） ガソリン及び軽油は、消防車及び救急車の燃料である。 平成25年10月に県外で病院火災で死傷者が発生したことに伴い、総務省からの病院及び診療所の立入検査実施の指示があり、市内の病院及び診療所（約300施設）を検査する際に車両（消防車）を使用するために増加したものと思われます。また、取壊し予定の建物で消防車両を使用していたの消火訓練及び破壊訓練等を約1ヶ月間実施した影響も思慮されます。</p> <p>③都市ガス・LPガス使用量 職員の節約意識向上が表れたものと推測される。</p> <p>④水使用量 前年度とほぼ同じだが、職員の節約意識向上がみられ年々減少傾向にある。</p> <p>⑤ごみ排出量 ごみ収集業務委託業者から提出された資料（データ）を元に集計。</p> <p>⑥紙使用量 平成24年度と比較すると増加しているが、予防業務（立入検査）等の実施件数が増加したものと比例していると考えられる。</p>